

# S-1+DTX+Tmab

S-1(エスワン)+DTX(ドセタキセル)+Tmab(トラスツズマブ)

## 【適応】

HER2 過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌

## 【投与スケジュール】

	Day1		Day14		Day21
Tmab 初回 8 mg/kg 2 回目以降 6 mg/kg 90 分※	↓				
DTX 40mg/m <sup>2</sup> 1 時間かけて	↓				
S-1 80mg/m <sup>2</sup> ※ 分 2	→				

S-1 は Day1 の夕から服用開始し、14 日間服用する (Day15 の朝まで)。1 週間休薬。

3 週を 1 コースとする

●重度 (Grade3 以上) の Infusion reaction が現れた場合、本剤の投与を中止し、以降、本剤を投与しないこと。また Grade2 以下の Infusion reaction が現れた場合は、投与速度を減じて慎重に投与すること。

●Tmab が投与予定日より 8 日以上経過した場合は、初回量 (8mg/kg) で開始する。

●Tmab は初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分間まで短縮できる。

●DTX 投与は原則自然滴下で行うこと。

(1 滴の大きさが小さく、ポンプを使用した場合は滴下速度がずれる可能性がある。)

## ※S-1 投与量

体表面積	投与量
1.25 m <sup>2</sup> 未満	40mg/回
1.25 m <sup>2</sup> 以上 1.5 m <sup>2</sup> 未満	50mg/回
1.5 m <sup>2</sup> 以上	60mg/回

【S-1 の減量の目安】

初回基準量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
	休薬	40mg/回 →休薬	50mg/回 →40mg/回 →休薬

【腎障害時の投与量変更例】

◎S-1

CLcr (mL/min)	>80	50~80	30~50	<30
	減量なし	必要に応じて1段階減量投与量から開始	1段階以上の減量投与量から開始	投与不可